

第3回

あつま 復興未来会議

復旧・復興計画 町民ワークショップ

北海道胆振東部地震からの再生に向けた「復旧・復興計画」の策定にあたり、町民参加型の話し合いの場である第3回「あつま復興未来会議」を開催します。

今回は今年度最後の開催となります。皆さん一人ひとりが思い描く“復興”を語り合いながら、厚真町の未来を一緒に考えませんか？

11月30日（土）16時～18時30分
(15時30分開場)
・終了後に会場で参加者交流会を開催します(1時間程度)
総合ケアセンターゆくり 2階介護学習室

- 第1回のテーマ 「厚真の未来を考えよう」(8月24日終了)
- 第2回のテーマ 「厚真の資源や課題を整理しよう」(11月16日開催)
- 第3回のテーマ 「今後必要な取り組みを考えよう」

第1回、第2回の内容を踏まえて、次の4つのテーマについて話し合います。

町内のつながりづくり

- 被害が大きかった人／そうでない人、地元／移住者、若者／高齢者など、立場の違う人たちの交流や、新しいつながりづくり
- 住まい再建後も安心して暮らせるコミュニティや、支え合いの仕組みづくり

災害につよいまち・ひとづくり

- 地震や土砂災害、津波など、これから起こり得る災害に対する「備え」の整備
- 震災の教訓を生かした地域の防災体制づくり
- 被災体験や教訓を次世代や町外の方に伝える方法

地域の魅力発信

- お金で買えない地域の魅力や誇り、「厚真らしさ」の次世代への継承
- 震災を経てつながった町外の方や、新たに厚真を知った方に向けた厚真の魅力発信

町民参加の復興

- 町民主体で行う復興祈念イベントや、活動の具体的なアイデア
- さまざまな分野でのボランティア活動や、町民主体の活動を応援・支援する仕組みづくり

参加申し込み

11月22日(金)までに、まちづくり推進課(☎27-3179)にお申し込みください。
※第1回、第2回に参加していない方もお気軽にご参加ください



住まいの再建相談会

住宅再建に関する無料相談会を開催します。
お気軽にご参加ください。

11月28日(木)
14時～20時 ※最終受付：19時30分

総合福祉センター 青年室

- 参加費無料
- 予約不要 [予約可(1世帯1時間) 予約の方は相談が優先されます]

- 個別相談
 - ・厚真町
 - ・住宅金融支援機構
 - ・(一社)北海道ビルターズ協会

さまざまな支援制度・融資について専門機関が相談に応じます

融資制度について 資金計画について 町の住宅再建支援制度について
宅地の確保について 住宅建設の計画について

問い合わせ：総務課 災害復興グループ ☎27-2481

ひとのうごき

令和元年10月31日現在 ()内は前月比

人 □ 4,546人 (-13)
男 2,275人 女 2,271人

世帯数 2,135世帯 (-8)

広報あつま

2019年 11月号
令和元年

もくじ
CONTENTS

- 2 ひとのうごき
- 3 あつま復興未来会議／住まいの再建相談会
- 4 北海道胆振東部地震被災者支援情報
- 5 災害復旧工事／通行止めのお知らせ
- 6-7 まちの家計簿
- 8-9 お知らせ
- 10-11 まちの話題
 - 12 地域おこし企業人／生活支援員だより 災害ボランティアセンターだより
 - 13 厚高インフォメーション／将来の夢
 - 14 中学生海外派遣研修
 - 15 糸川一也氏講演会／公共交通機関の料金改定
 - 16 防災のページ
 - 17 Jアラート／気象台ノート あつま国際雪上3本引き大会
 - 18 保健の掲示板
 - 19 子育て支援センター
 - 20 健康情報
 - 21 災害と健康
 - 22 ひきこもりでお悩みの方へ
 - 23 歳末チャリティー即売会／臨時職員募集 こぶしの湯あつま
- 24-25 情報ひろば

10月1日～10月31日届出分

※窓口などで、広報紙への掲載について確認できた方を掲載しています

「広報あつま」はホームページでもご覧いただけます

<http://www.town.atsuma.lg.jp/office/>

広報あつまの電子書籍はこちらから。
www.hokkaido-ebooks.jp

北海道内のすべてがそろった電子書籍ポータルサイト「Hokkaido eBooks」
Hokkaido eBooks
Hokkaido eBooks実行委員会(株式会社 須田製版 内) Tel.011-621-1000(代表)

明日の厚真への“愛”ことば



今月の表紙
COVER



10月6日、こぶしの湯あつま前広場で「あつまマルシェ2019」が2年ぶりに開催されました。町内外から約1,500人が訪れ、会場は新米やメークインの袋詰め放題などの催しや、昔の農機具の実演展示で脱穀を体験する家族連れなどで賑わっていました。